

平成27年度

鹿島小学校 学校図書館支援活動記録

学校図書館支援員 猪狩奈々美

1 学校図書館の概要

学校の紹介

平成27年度児童数

1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
68名	56名	44名	64名	39名	66名	337名

(平成27年12月末時点)

学校派遣日数 月・火・水曜日の週3回

貸出日 月・火・水曜日の週3回

貸出時間 10:00～10:25、昼休み、放課後

開館時間 10:00～15:50 (冬期は15:40)

図書担当教員 秋葉幸子教諭 鹿山まゆみ教諭

学校図書館蔵書数 (4月当初) 10,219冊

学校図書館受入冊数 (3月末時点) 749冊

うち 市費購入冊数及び金額 233冊 (429,831円)

うち 杉並文庫購入冊数 165冊

うち 寄贈資料冊数 271冊

うち PTA図書費購入冊数 80冊

2 平成27年度の課題及び目標

① 課題 図書室の利用の仕方の周知が不十分である。

→目標 貸出開始の際にオリエンテーションをする時間を設け、貸出・返却の仕方を確認する。
また、図書室内に注意書き等の掲示をする。

② 課題 長い間読まれていない埃をかぶった本、古い紙芝居等の除籍が出来ていない。

→目標 図書室内にあった古い蔵書等の確認は出来たが、その他にも学級文庫として配架されていた古い本、紙芝居も出てきたため学級に確認を取る。

③ 課題 利用の少ない児童への働きかけとして、学校図書館支援員と学校(図書委員など)の共同企画の実施を行っていく。

→目標 貸出が派遣日のみとなっているため、今後は派遣日以外でも貸出を行えるように環境を整えられるようにしていきたい。

3 活動の方針

今年度の学校図書館の運営方針について担当教諭へ確認をしたところ、例年同様、4月当初は児童用の貸出バーコードを作成、6月上旬を目安に今年度の貸出を開始することとなった。また今年度から昼休みの時間が設けられたため、その時間も貸出をすることとなった。

学校図書館年間活動計画（スケジュール）

月別	蔵書管理・図書活用・読書指導	児童図書委員会活動内容	市立図書館との連携
4月	・担当教諭との打合せ	・図書の貸出準備	・第1回学校図書館支援会議 ・図書の借用開始
5月	・学級文庫の入れ替え ・杉並文庫選書開始	・前期図書委員会編成	・第2回学校図書館支援会議
6月	・オリエンテーション ・貸出開始	・書架整理 ・図書の貸出準備	
7月	・怖い本・ミステリーのコーナー設置 ・夏休み貸出 ・杉並文庫受入開始	・夏休みの貸出準備	・市内学校図書館見学
8月	・杉並文庫受入	・書架整理	・第3回学校図書館支援会議
9月	・夏休み貸出の返却対応 ・真野小学校の蔵書修理 ・大型連休に向けた貸出	・夏休み貸出延滞本の確認及び呼びかけ ・連休貸出の補助	
10月	・夏休み貸出延滞本の確認及び督促状作成 ・市費選書開始 ・寄贈分の選書開始	・書架整理	・第4回学校図書館支援会議
11月	・市費選書 ・連休に向けた貸出	・連休貸出の補助	・中央図書館見学（2学年）
12月	・推薦図書配架 ・冬休み貸出 ・除籍作業	・冬休み貸出の補助 ・未返却図書の呼びかけ、督促	・第5回学校図書館支援会議
1月	・市費図書受入、配架 ・企画「おみくじ」 ・除籍作業	・書架整理 ・貸出補助	
2月	・企画「読書賞」 ・除籍作業	・貸出補助 ・未返却図書の督促	・第6回学校図書館支援会議
3月	・未返却図書、紛失図書の確認 ・除籍作業	・紛失図書の搜索 ・未返却図書の督促	・第7回学校図書館支援会議

4 年間活動内容

1年間の主な活動記録

4月～5月

- ・貸出準備（児童用貸出バーコード作成）
- ・1年生に絵本を学校図書館から30冊、中央図書館から30冊ほど提供した。
- ・昨年度同様、雑誌・新聞の受入をした。雑誌等は個人貸出を行わず図書室で読むこととした。

（写真1、2）

写真 1



今年度の鹿島小購入雑誌リスト

タイトル	出版社
朝日小学生新聞	朝日新聞
週刊朝日マンガ 日本の歴史	朝日新聞
子供の科学	誠文堂新光社
ジュニアエラ	朝日新聞出版
News がわかる	毎日新聞社
MOE	白泉社
この本読んで	JPIC
おりがみ	日本折紙教会

写真 2

バックナンバーは新着雑誌の下に配架

6月

- ・貸出を開始。鹿島小では3年生から図書室の利用が出来るため、新3年生には貸出の際にオリエンテーションをする時間を設けた。その他の学年に関しては、貸出の仕方が不明確な児童には支援員及び図書委員会が説明を行った。
- ・3年生が国語の授業で絵を描くため、それに使用する絵本を30冊ほど提供。
- ・1年生が国語で使用する鳥のくちばしに関する資料を30冊ほど提供。
- ・杉並文庫の選書支援が完了。

7月

- ・夏休みに向けて怖い本やミステリーの本を集めたコーナーを設置。当初は夏の期間だけの予定だったが、児童からの人気が高かったため、そのまま常設となった。(写真3)

写真3 怖い本、ミステリーの本のコーナー設置



未使用だった本棚を活用。
このコーナーに移動した蔵書をリストアップし、掲示することで児童が配架を把握しやすくなった。
また、以前配架していた棚には、貼り紙などをつけて知らせた。

- ・夏休みの貸出を開始。昨年度同様、一人2冊までの貸出を行った。低学年は長期休暇のみ貸出可ということで、学校図書館支援員がオリエンテーションを行い、図書室での過ごし方や貸出の仕方などを教えた。
- ・今年度初めて利用する児童もおり、図書委員がいる学年は図書委員が貸出の仕方を説明した。

8月～9月

- ・杉並文庫の搬入および受入。

選書の際に担当教諭と話し合った結果、教科書掲載の本を中心に選書した。また、児童から続きを要望されていたシリーズなども多数選書した。(写真3、4)

写真5

杉並文庫で本を選ぶ児童の様子



写真4 今年度の杉並文庫



- ・大型連休を利用して1人2冊までの貸出を行った。

10月～11月

- ・夏休み貸出の延滞確認及び督促状の作成。
- ・市費選書支援開始。
- ・中央図書館見学案内。

11月18日(水)10時30分～11時30分の予定で2学年の児童56名、教員2名へ館内案内、読み聞かせを行った。(写真6、7)



中央図書館見学の様子

写真6

初めて来館する児童もおり、たくさんの本や季節の飾りを見て目を輝かせている様子が見られた。

中央図書館見学の様子

写真7 読み聞かせの様子。
読み終わりの際におはなしの
蔵の仕掛けを見せたところ、と
ても喜んでくれた。



12月

・冬をイメージした飾りを設置した。(写真8、9、10)

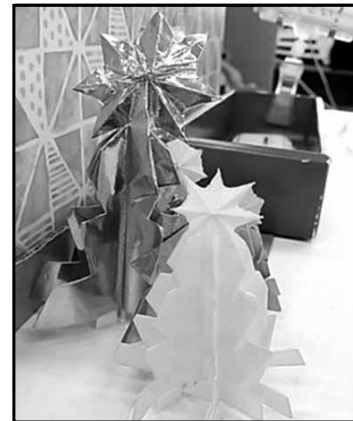
写真8



写真9



写真10



本を借りる際、折り方を聞きに来る児童もいた。

・冬休みの貸出開始。6年生は最後の長期貸出ということで、6年生を優先に1人2冊までの貸出を行った。普段図書室を利用していなかった児童が本を借りていく姿が多く見られた。

1月～3月

- ・お正月の企画としておみくじを作成。
- ・冬休みに貸出をした本の返却。
- ・情報が古い本を除籍した。

写真11

今年の干支である猿にちなんで「バナナおみくじ」



5 中央図書館サポート職員による支援内容

- ・選書のアドバイス・本の分類の確認。
- ・展示物のアドバイス。
- ・季節飾り・展示用スタンド（ポップスタンド・ブックスタンド）の作成。
- ・配架アドバイス。(8月来校)

6 学校図書館利用実績

(1) 年間貸出冊数

① 個人貸出冊数

	1年 (3クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	総合計
年間合計	433	249	934	1127	218	415	3376
一人あたり	6.37	4.45	21.23	17.61	5.59	6.29	10.26
昨年度比	193.3%	82.5%	81.3%	308.8%	52.5%	98.6%	117.5%

※1 1人1冊1週間の貸出。

※2 低学年は長期休暇のみ貸出を行っている。

② 学級文庫貸出冊数

	1年 (3クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	支援学級	総合計
学年合計	287	104	74	96	39	65	50	715
昨年度比	95.6%	77%	370%	480%	195%	325%	0%	138.8%

③ 調べ学習等貸出冊数

	1年 (3クラス)	2年 (2クラス)	3年 (2クラス)	4年 (2クラス)	5年 (2クラス)	6年 (2クラス)	総合計
学年合計	23	54	95	84	89	163	508
昨年度比	85.1%	284.2%	111.7%	105%	150.8%	276.2%	154.4%

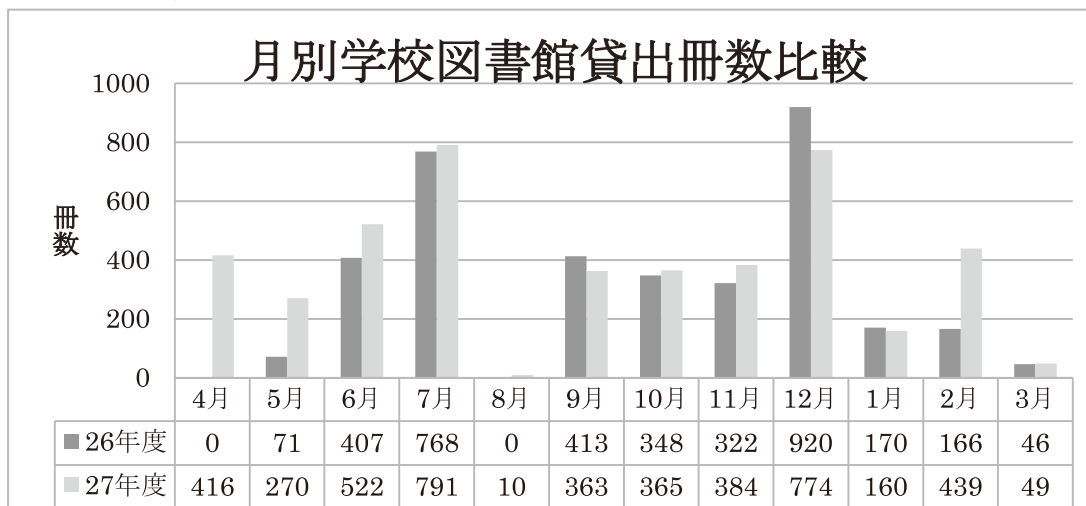
※1 図書室内での利用または中央図書館からの貸出冊数は除く。

(2) 学校図書館利用実績比較

昨年度に比べ、どの月も貸出冊数が多くなっている。また、個人貸出を開始した6月から7月が貸出のピークとなっている。

昨年度の学校図書館の利用実績と比較すると次の表となる。(表1)

表1 月別貸出冊数の比較



7月、12月は長期休暇のため1人2冊までの貸出を行っており、貸出冊数がほかの月より多くなっている。後期は学習発表会やマラソン大会などの学校行事が多かったが、そちらに熱心に取り組みながらも読書をする児童の姿が見られた。

7 本年度の成果及び来年度に向けた課題

(1) 本年度の成果

- ・新設した怖い本・ミステリーの本のコーナーが大好評であり、これをきっかけに図書室へ足を運ぶ児童が増えた
- ・学級担任とのコミュニケーションを取り、授業内容の資料提供をスムーズに行うことが出来た。

(2) 来年度に向けた課題

- ・今年度に引き続き、長い間読まれていない埃をかぶったままの本や紙芝居、情報の古い本などの処理をしていきたい。
- ・鹿島小学校に導入されている電算システムは昨年度同様、学校図書館支援員のみが扱うことになっている。また貸出が派遣日のみとなっているため、児童がいつでも本に親しむことが出来る環境にするための働きかけを行っていきたい。